

今、注目される雪印種苗の緑肥作物

キタネグサレセンチュウの抑制に！ サツマイモネコブセンチュウの抑制に！



「緑肥ハイオーツ」「スナイパー」(試験系統名 A19)

緑肥作物で有害線虫や病害対策をする時代です！

従来の緑肥用エンバクは短期で土壤に有機物を供給することを目的としましたが、弊社が開発した「緑肥ハイオーツ」と「スナイパー」は有機物の供給だけでなく、有害線虫や各種病害を減らすことが可能な品種です。春播きの播種期は東北では4月上～6月上旬、関東では3～5月、九州では2月下～5月上旬です。「緑肥ハイオーツ」と「スナイパー」は減農薬栽培を可能にする、環境にやさしいエンバク新品種です。

「緑肥ハイオーツ」 = 多種の土壤病虫害抑制とその効果の安定性に優れる

「緑肥ハイオーツ」はキタネグサレセンチュウを抑制するほかに、多種の土壤病害等を軽減する効果も確認されています！

キタネグサレセンチュウ抑制効果
 キャベツ バーティシリウム萎凋病
 軽減
 ダイコン バーティシリウム黒点病
 軽減
 ジャガイモ そうか病軽減
 アブラナ科 根こぶ病対策

栽培のポイント

- ☑播種量を 10～15kg/10a とし根群を圃場全体に発達させる。
- ☑鋤き込みの目安は栽培 60 日前後、又は出穂始め頃を目安にする。

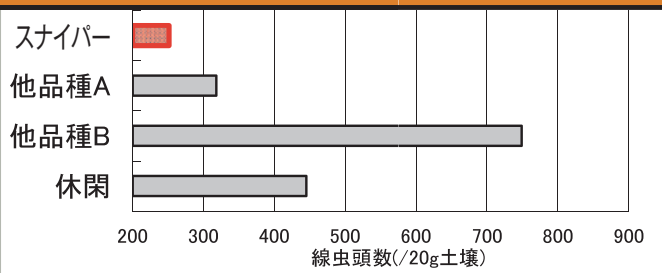
※線虫と土壤病害に対する抑制効果は、品種によって効果に大きな差がありますので、ご利用の際は「緑肥ハイオーツ」と品種を指定する。

「スナイパー」 = サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が高い極早生エンバク新品種！ =

(試験系統名：A19)

※「スナイパー」は九州沖縄農業研究センターとの共同開発品種です

サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が特に高い！



「スナイパー」栽培後、サツマイモ「宮崎紅」収穫期のサツマイモネコブセンチュウ頭数

(九州沖縄農業研究センター、2010)

栽培のポイント

- ☑播種量を 8～10kg/10a とし、根群を圃場全体に発達させる。
- ☑晩夏播きで特に効果を発揮する。秋播きと越冬栽培も可能だが、温度が高く、線虫の活動が活発な時期に栽培することで増殖が抑制される。
- ☑鋤き込みの目安は栽培 60 日前後、出穂始め頃を目安にする。